



2017年度明治大学法学部 ハワイ大学春期法学研修報告書



発行：明治大学法学部

<http://www.meiji.ac.jp/hogaku/hawaii/>

1. 教員あいさつ	2
2. プログラムの紹介	3
3. ハワイ大学の紹介	4
4. レクチャー	5, 6
5. フィールドトリップ	7, 8
6. ハワイの生活	9
7. ハワイの魅力	10
8. スケジュール	11
9. 参加者の感想	12
10. ハワイ大学の教員紹介	13
11. 2017 年度研修概要／編集後記	14



1. 教員あいさつ

海外への架け橋

法学部長 村上 一博

法学部では、2013 年度からハワイ大学春期法学研修を実施しています。この研修では、ハワイ州唯一のロースクールである、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院において、英語で法律を学ぶほか、州内の法律事務所、裁判所および政府機関の見学や州法律家協会の行事に参加するなど、盛り沢山の充実した内容となっています。

ハワイは日系人が多いという特殊な土地柄であり、また観光地としても絶大な人気を誇る場所ですので、海外経験がないという方でも比較的大きな不安を抱えることなく生活ができます。また、とくに初めて海外留学する学生のために、事前のガイダンスや現地での通訳などのサポートが整っているため、英語力に不安のある学生も安心して参加できるプログラムです。

ぜひ、ハワイ大学春期法学研修に参加し、この研修で得られた経験をもとに国際的視野を広げ、海外への架け橋を築きましょう。

異文化理解を通じて日本を知る

法学部専任教授 佐々木 秀智

この報告書は、2017 年度に実施された米国ハワイ大学マノア校における短期法学研修プログラムに参加した学生が作成した報告書です。参加者自身の体験を基に作成されたものですので、これから海外留学プログラムへの参加を検討している方々にも参考になる情報が満載です。

ある国の現行法制度が形成された背景には、様々な文化的・歴史的要素があります。特に米国法では、「歴史的継続性」がその重要な特徴として挙げられます。また各法律で用いられる英語の言葉・言い回しにも文化的・歴史的背景があります。このプログラムでも、ハワイ州の法制度のみならず、同州の文化・歴史について多く学んだと思います。同州にも、長い歴史や豊かな文化があります。その中で様々な統治が行われ、現在の法制度が形成されたのです。

このことは日本も同じです。米国ハワイの法文化・歴史を学び日本と比較することで、日本の法文化・歴史の理解がさらに深まります。外国法の文化・歴史を学ぶことは、わが国の法制度・理論の理解にとってとても有益なことです。

今回のプログラム参加者の皆さんが、ハワイ大学での法学学習を通じた異文化理解の基礎訓練の中で習得した知識と経験を生かして、今後の法律専門科目の学習をさらに深め、自らの将来を切り開いていくことを願っています。

2. プログラムの紹介

・概要

講義およびフィールドトリップを通して、英語で法律を学ぶ短期海外留学プログラムです。英語での授業ですが、引率の先生が通訳をしてくださるので、安心です。

・期間

2018 年 2 月 24 日(土)～2018 年 3 月 11 日(日)の濃厚な約 2 週間！

・特徴

講義

現地の大学の教授の講義を受講することができます。もちろん、講義は英語で行われます。が、わかりにくい部分は各大学の引率の先生が通訳をして、私たちの理解を促してくださいます。英語力に多少の不安を抱いている人でも、安心して講義を受講することができます。また、日本にはない講義もたくさんあるので、自分のやりたいことが見つかる可能性があるかも？！

放課後や休日

平日の講義は午前で終わる日や、15～16 時で終わる日など様々で、放課後はオアフ島の散策をすることができます。休日は、まさにバカンス！オアフ島のディープなところに行くもよし、ワイキキビーチで遊ぶもよし。南国ハワイの雰囲気を感じる存分楽しんでください！

他大学との交流

他大学(2017 年度は琉球大学、愛知大学、青山学院大学、早稲田大学)の法学部生、法科大学院生とともに、講義を受けます。地域性、校風が違うため、異なる価値観や意見の交換ができ、帰国後も交流できる関係を築くことができます。

・ホームステイ

本プログラムの目玉とも言えるホームステイ。ホームステイとは、お客様としてではなく、家族の一員として生活することです。家庭でのコミュニケーションは英語でしか取れません。必然的に英語を話さなければならないため、英会話スキルの向上が見込まれます。また、家庭によっては日本や他の国からの留学生を同時に受け入れていることもあり、同じ研修の参加者以外の同世代の人たちとの交流ができるかもしれません。

そして、忘れてはならないのは、自分も 2 週間とはいえども家族の一員だ、ということ。家族として、積極的に自分からファミリーに話しかけましょう！

3. ハワイ大学の紹介

・ハワイ大学マノア校

- ・1907 年創立
- ・オアフ島のホノルル北に位置
- ・敷地面積は和泉キャンパスの 180 倍以上！
- ・学生数：約 19,000 人
- ・様々な大学ランキングで上位 1.5%に常に入るとても優秀な大学(マノア校 HP 参照)



・ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院



- ・ハワイ大学マノア校に附属するロースクールであり、ハワイ州唯一のロースクール(米国では法学部はなく、法科大学院で法律を学ぶことになります。ですので、実質的にハワイで法学を学ぶ唯一の場所ともいえます)
- ・専任の先生は 36 人で、様々な国籍の先生で、全米でも屈指の研究レベルを誇ります。
- ・ロースクール独自の図書館をもち、学生はそこで 24 時間こもって勉強することができます。

4. レクチャー

・講義の形式

講義は基本的に英語で行われます。ですが、このハワイ大学の法学研修では引率の先生方が要点や補足の説明を日本語で行いながら講義が進められます。この点は、明治大学で用意された他の法学研修のプログラムと大きく異なり、英語力に自信のない人でも講義内容が理解できます。

また、講義の形式は先生によって異なります。パワーポイントを使いながら丁寧に説明して下さる方、学生への質問を頻繁に行う方、学生同士によるディスカッションを求める方など様々です。日本の法学部の講義とは異なる点も多々あり、困惑するかもしれませんが、刺激的で実りある時間を過ごせるでしょう。

・講義のスケジュール

講義は1コマ90分です。1日に2から3コマ講義があります。

通常の講義に加え、キャンパスや図書館のツアーなども行われます。また、昼休みにはご飯を食べた後、キャンパス内をぶらつく余裕もあるので、ハワイ大学の雰囲気を十分に味わうことができます。

・講義の内容

前半の講義のテーマ

交渉学	アメリカ法入門	日米比較法	アメリカ憲法	刑法
	ハワイ先住民の権利	図書館情報調査方法		

はじめはアメリカ法入門や日米比較法などで今まで学んできた日本法の知識などを活かして、アメリカ法の基礎を学ぶことができます。特に、日米比較法を担当する Levin 先生は、日本語が非常に堪能で、彼の講義はほとんど日本語で行われます。交渉学では、他大の学生とペアになってアクティビティをします。これをきっかけに、他大の学生とも仲良くなれるのではないのでしょうか。ハワイ先住民の権利では、ハワイの歴史とともに制度の変遷を教わります。歴史と法制度の結びつきの深さに気づかされました。



後半の講義テーマ

結婚平等法	アメリカ取引法	契約法	国際刑法
老人法	労働法	環境法	アジアにおける人権

結婚平等法は日本ではあまり法整備が進んでおらず、ハワイ大学の法学研修ならではの分野なのではないでしょうか。この講義で学んだ知識は後に行われる、フィールドトリップの際の話の理解にも役立ちます。アメリカ取引法では、レッドソックスファンの **Levinson** 先生が野球におけるビジネスを例に挙げながら説明してくださるので、野球好きの方は楽しめるかもしれません。どの講義にも最後に質問の時間が設けられており、疑問に残ったことがあってもすぐに解決できます。

・講義を受けてみて

このプログラムは語学研修ではなく法学研修です。ですから、英語を使って法律を学ぶプログラムです。英語を使って英語を学んだ経験は皆さんあるかもしれませんが、日本語以外で法律を学ぶという経験をした人はほとんどいないのではないのでしょうか。その点でこの法学研修は大変貴重な機会と言えるでしょう。もちろん、英語による講義を受けることは、英語が得意な人にとっても不安に感じるでしょうが、引率の先生方、現地の先生方が手厚くサポートしてくださるので、きっと2週間を乗り越えることができます。

ただ、2週間という期間は非常に短いです。ここでの経験が、直接、将来につながることはないと思います。ですが、この法学研修を通じて、新たな課題が見つかったり、自分の能力に気づいたりするかもしれません。それを日本に帰ってから、今後の学習の糧にできれば、ここでの経験が大きな財産になると思います。

このプログラムでは日本ではできない多くのことが経験できます。新たなことに挑戦してみたい人や、何かきっかけが欲しい人は、ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。



5. フィールドトリップ

1. Federal District Court

アメリカ合衆国では連邦制を採用しており、連邦裁判所と州裁判所の2種類の裁判所が存在します。ここでは、女性の判事の方にお話をお伺いしました。実際の法壇に座る体験ができました。



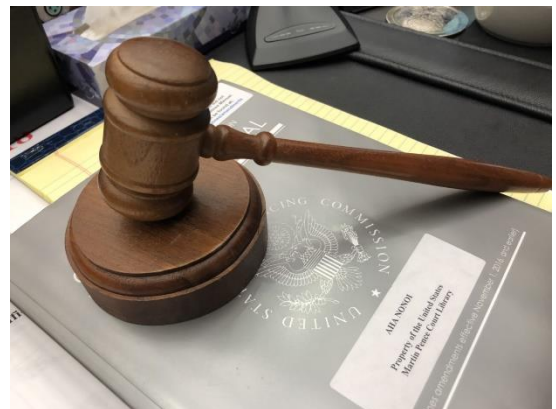
3. Supreme Court

カメハメハ大王像で有名なこの建物は、1階が博物館、2階が裁判所になっています。ここでは主にLGBTについてのお話を聞きました。カメハメハ大王像は迫力があります。



2. State Circuit Court

次は州裁判所。ここでも判事の方にお話をお伺いすることができました。貴重なお話なので、聞き逃さない様に。



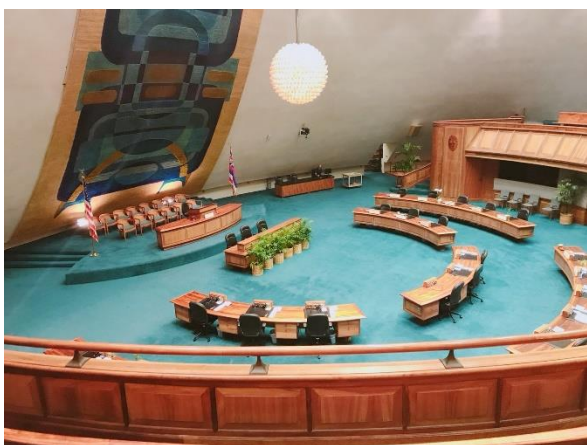
4. Goodsill Anderson Law Firm

ハワイにある弁護士事務所を訪れました。弁護士の方がお仕事の内容やロースクールでのお話をしてくださいました。とても綺麗なオフィスでした。



5. State Capital Center

ハワイ州議会事堂では、実際の会議を見ることができました。州知事はお忙しい方ですが、私たちのために時間を作って、お話ししてくださいました。



6. Women's Community Correctional

最後に、女性刑務所を訪れました。ここでは受刑者に応じて更生プログラムが組まれています。刑務所の中では思っているよりも自由な環境の中、受刑者は過ごしていました。実際に入ってみなければ分らなかったことも沢山ありました。



6. ハワイの生活

・交通手段



ハワイには電車は通っていないので、通学の際や休日出かける際には「The Bus」と呼ばれるバスで移動しました。5.5ドルで毎日1 day パスを買って、それを運転手さんに見せて乗ります。降りたいバス停が近づいたら、窓際に張られているロープのようなものを引っ張って知らせます。このバスは遅延することも多く、時間より早く出発してしまうこともあります。時間に余裕

をもって行動しましょう。はじめのころは、バス停の名前が聞き取りづらかったり、乗り換えやルート調べるのに苦労したりしましたが、慣れれば行きたい場所へ簡単に行くことができ便利です。

・食事

ハワイにはおいしい料理がたくさんあります。ロコモコやポキ、パンケーキ、ガーリックシュリンプ、マラサダなど、ハワイならではのグルメを楽しむことができます。特にパンケーキはハワイから日本にも店が進出していますが、現地で食べると本場の味を堪能できます。

ハワイではプレートランチが人気で、一枚のプレートに1食分の食事が盛り付けられます。プレートランチをテイクアウトして、ビーチなどの眺めがよいところに持って行って食べるのもおすすめです。



・ホームステイ

ハワイのリアルな生活を体感できるのがホームステイです。私は初めてのホームステイだったので、とても緊張しましたが、ホストファミリーは優しくてほっとしました。私のホームステイ先には、私以外にも、日本人やチリ人やトルコ人などの留学生がいて、英語で会話をして、ほかの国のことを知ることができたので、とても楽しかったです。家での食事は、自分で冷蔵庫にあるものをもって食べる、という形で、洗濯機を使えるのは、週に1回でした。はじめは海外での生活は不安でしたが、特に不自由なく楽しく生活ができたのでよかったです。ホストファミリーがどんな人になるかはわかりませんが、自分の英語力を磨くのに絶好な機会だと思うので、ぜひチャレンジしてみてください。

7. ハワイの魅力

ハワイの魅力は、やはり海が綺麗なところですよ。ワイキキビーチは有名で、たくさんの観光客でにぎわっていました。ワイキキビーチのほかにもハワイにはビーチがたくさんあって、なかでも綺麗だったのは、オアフ島の東海岸カイルアにあるラニカイビーチです。ラニカイビーチは、「全米で最も美しいビーチ」に選ばれるなど、知る人ぞ知るビーチだそうです。ハワイ語で「ラニ」は天国、「カイ」は海のこと、その名の通り天国のような、エメラルドブルーで美しいビーチでした。

オアフ島の北向きの海岸地域はノースショアと言って、そこはサーフィンで有名なビーチがあります。スカイダイビングなども体験できるそうなので、アクティビティが好きな方にはお勧めです。



ハワイは自然が豊かなところの魅力の1つです。ワイキキビーチからも見えるダイヤモンドヘッドはハワイを代表するスポットです。私たちも登ってみました。頂上までの道は急な階段があったりしましたが、1時間以内で登頂することができました。頂上に着くと、ホノルルを一望でき、また、その時、偶然大きな虹を見ることができました。ハワイは虹がよく見られることでも有名です。

ワイキキでは、毎週金曜日にヒルトン・ハワイアン・ビバレッジから打ち上がる花火を見ることができます。5分ほどの短い時間ですが、ビーチから見える花火は迫力があります。常夏の国ハワイならではの経験ができるので、ぜひ見に行ってみてください。

また、アラモアナセンターやワイキキビーチ周辺にはショッピングセンターが多くあり、アメリカのブランドのものは日本よりも安く買えるので、ショッピングも楽しめます。アラモアナショッピングセンターは大規模なショッピングセンターなので、2日以上かけても回りきれないくらいお店がたくさん入っていました。

8. スケジュール

♪ある一日のスケジュール

- ・ 7 時 30 分～8 時 30 分 登校（ホームステイ先によって通学時間は変わります）
- ・ 8 時 30 分～15 時 00 分 講義（毎日 3 コマ、1 コマ 90 分です）

～ここから FREE TIME !! ～

- ・ 15 時 20 分～18 時 00 分 ショッピング at アラモアナショッピングセンター
- ・ 18 時 00 分～帰宅 夕食&各々ファミリーと交流
- ・ 0 時ごろ就寝

1～2 日目 (Sat～Sun)

待ってました、ハワイ！快晴の空、暖かい南国の風を想像していた私たちですが、まさかの曇り。先行きが少し不安でした…。空港に到着してから、引率の先生と合流し、そこからすぐに 2 週間お世話になるホストファミリーと対面。そのままハワイ到着後の 2 日間は、それぞれファミリーと過ごしました。

3～7 日目 (Mon～Fri)

講義開始！法科大学院の校舎で朝 8 時 30 分～15 時か 16 時まで講義。馴染みのある刑法や憲法の他に、原住民の方々の権利についてなど、アメリカ独自の法律を英語で勉強。放課後は、ワイキキの街やビーチを堪能！ザ・ロコ（地元の人）の気分を味わえますよ！

8～9 日目 (Sat～Sun)

ついにこの日がやってきた！ハワイでの休日の過ごし方といったら、ビーチとショッピング！みんなで集まって、観光スポットや天国の海、アウトレットなどオアフ島を楽しんで楽しみまくりました！ダイヤモンドヘッドはぜひ登ってください！午前も午後も超オススメです！

10～13 日目 (Mon～Thu)

ハワイに来て 2 回目の週初め。受けてみたらわかるのですが、講義は楽しいものばかりです。フィールドトリップもあり、よりハワイやハワイの法律について理解を深めることができます。女性刑務所や裁判所、州知事を訪問したりと、日本では体験できないことができます！

14 日目 (Fri)

この日はオアフ島で自由に過ごせる最後の日。島の南から北まで、ハワイの交通機関であるバス＝The Bus で駆け抜けました。夜はワイキキのビーチで、優雅に夕食を楽しみ、花火を見ました。そして、家に帰りホストファミリーと最後の夜を過ごしました。

9. 参加者の感想

今回のハワイ大学の法学研修に参加した学生の感想をまとめました！

- ・ハワイでの2週間は、非常に印象的なものになりました。日本法と大きく異なるアメリカ法やハワイの明るい人々、世界観の違いに触れ、異国の地で迷子になり...視野が広がった気持ちです。助けてくださった皆さん、本当にありがとうございました！
- ・アメリカ法や日米の法比較を授業で、日常会話をホームステイで学ぶことができました！とても有意義な2週間でした！
- ・僕のハワイ大学留学は、最高に perfect でした。ホストファミリーに恵まれ、一緒に学習した仲間にも恵まれました。
ハワイ最高です！皆さんも是非行ってみてください！
- ・英語で法律を学ぶというプログラムの中で、分かりにくい点については先生方が通訳してくださったので、耳で聞いた情報と日本語の解説でより一層理解が深まりました。約2週間という短い期間でしたが得たものは大きかったです。
- ・ホームステイではホストファミリーとコミュニケーションをとることができました。今でも連絡を取っています。バスの乗り方はマスターしました。
- ・ハワイの裁判所や女性刑務所に訪れることができ、日本ではできない経験ができたので良かったです。
- ・ホームステイで海外での生活を経験し、朝から大学で授業を受け放課後はみんなで様々な場所を観光する、とても充実した2週間でした。
- ・ホームステイを通じて英語による日常のコミュニケーションを体験できました。2週間という短い期間でも、話す力・聞く力の向上が感じられて良かったです！
- ・大学の授業には日本では学べないような科目もあり、とても刺激的でした。英語での授業は不安でしたが、先生方がサポートしてくれるので問題ありませんでした。僕にとって新しいことばかりで楽しかったです！

大学での講義やホームステイでかけがえのない経験のできた学生がたくさんいたみたいです。初めて海外に行ったという学生もたくさんいたので、まだ海外に行ったことのない人でも心配ありません。迷っている人はぜひチャレンジしてみましょう。

10. ハワイ大学の教員紹介

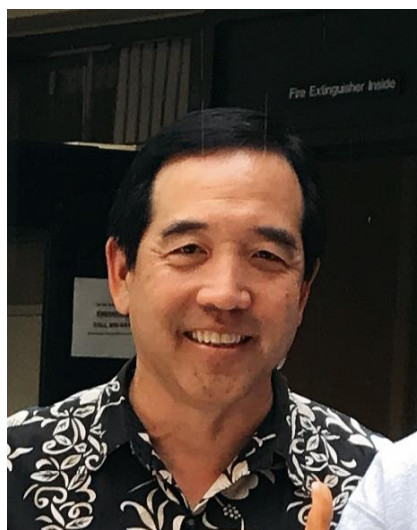
ハワイ大学の2名の先生を紹介します。

1. 木村スペンサー先生

スペンサー先生は、ハワイ大学法科大学院のご出身であり、英語はもちろんのこと、日本語もお上手な方です。ハワイ大学では初めにスペンサー先生が、私たちを出迎えてくださいました。

主に授業ごとに各先生方のご紹介をしてくださったり、事務連絡をしてくださいます。

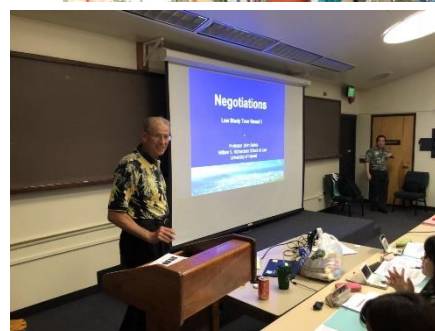
また、皆さんがフィールドトリップに行く際にも同行し、それぞれの場所の案内をしてくださいます。困ったことがあったら相談にのってくださったり、様々な面でサポートしてくださるので、とても心強いです。



2. レビン先生

レビン先生は、日米法比較や同性婚などについて教えてくださいました。レビン先生も日本語がお上手で、授業は英語を加えながら、難しい箇所は日本語で説明してくれて、とても楽しく面白い授業でした。

レビン先生はサイクリングが大好きで、ハワイの自転車の貸し出しサービスの「biki」を使って、いろいろなところに出かけることが趣味です。積極的に話しかけてくださる先生です！



他にも各講義を各先生が担当します。
これは交渉の授業です。

11. 2017年度研修概要/編集後記

○研修概要

- ・名称

ハワイ大学春期法学研修

- ・研修校

ハワイ大学マノア校ウィリアム.S. リチャードソン法科大学院

- ・期間

2018年2月24日～3月11日

- ・滞在先

ホームステイ(原則、大学への通学時間が1時間以内) 朝・夕食付き

- ・研修費用

約44万円 法学部から8万円の助成あり

- ・参加人数

10人(全員学部生) 研修に参加している人数は全体で50人ほど

- ・単位認定

研修後のレポートで判断し、翌年度集中法学部科目「Legal Studies Abroad」として成績評価を行い、2単位を付与

○編集後記

- ・法学部3年(S.H)

本研修は、法学以外にも様々なことを学ぶことができる素晴らしい機会だと思います。

「英語で法律を学ぶ」ことは新鮮で、難しいことですが、挑戦する気持ちがあればとても楽しいものになります。私も、せっかくハワイに来たのだから遊ばなくては、と考えていました。しかし、他大学の学生の話を知ると法学を学びに来ている、という決意をよく聞きました。私もそれを聞いて、勉強に対してのモチベーションが上がりました。その結果、高齢者法と環境法という日本でも、もっと取り上げられても良いと思える法律に出会うことができました。

そして、なんといっても本研修の醍醐味はホームステイです。私は、ホストファミリーに恵まれ、地元の人のように2週間過ごさせてもらいました。温かい人たちが多いハワイにまた来たいと思います。少しでも海外で生活してみたい、ハワイの温かい雰囲気に触れたい、英語または法律を勉強したいという人はぜひ、参加してみてください！



Great Memories in Hawaii

